

「私が描く10年後のとくしまの姿」について(意見募集結果)

分類	提言の概要	備考
農林水産業	<p>(農業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農協等による荒廃農地の集約委託管理の促進 ・農作業を有償で行う企業の支援強化 ・休耕田を活用することにより食料自給率を80%水準にする ・植物工場により農作物の生産を行う農業法人を設立して、若者に安定した雇用の場を創出 ・畜産の振興のため、大学に獣医学科を設置 ・農業面に力を入れ、農業で若者が生活できるような徳島県を実現 ・専業農家を増やしていくため、Uターンの受け入れや体験農業のPR活動を推進 ・農業を盛んにして、U・Iターンの受け入れを促進 ・県がバーチャル・産直市のホームページを作成し、資格審査をパスした個人事業主に店出してもらうことにより、ネット販売への意欲がありながら、ノウハウがないため参入を躊躇していた農水産業者を支援する(また、HP開設の主体が「県」であること等により、消費者にも安心感を与える) ・新規就農を支援する仕組みづくりを行い、県内外から新規就農を希望する方を呼び込む ・徳島県あるいは四国4県で、全国放送の料理番組のスポンサーになり農林水産物をPRするとともに、「24市町村、24品」運動の展開やU・Iターン、2地域居住施策と農林水産業の後継確保策との連携などにより、「とくしま農林水産ブランド」を全国1位にする ・県をあげて食の王国・徳島を築いていくため、県外への情報発信の充実とあわせて、県内においても毎月「食王国の日」を設けて関係機関が食材の地元への提供を行うなど、県民が徳島が誇る食材を味わう機会を拡大させる ・徳島の美味しい特産物をさらに全国にアピール ・農畜産物の付加価値やブランド力を高め、中国、韓国、台湾など東南アジアへの輸出を促進 ・法人参入を促し、大規模化・効率化を図るとともに、ブランド商品を育成して全国的な市場競争力を高める ・町村に農林漁業お助け隊を設置(シルバー世代やU・Iターンの者を隊員に、NPOあるいは第三セクターで運営) ・「ももいちご」など徳島の誇る地域ブランドの最上級品は、県外へ出荷せず、地元に残し、徳島でしか味わえないことを売りにしたグルメツアーなどを企画することにより本県を訪れる人を増やす ・地域の農産物を加工し、付加価値を付けて販売することにより地域を活性化(地元の農産物等を利用した健康志向の農家レストラン経営や土産物販売など) ・規模の大きな産直市を開設し、野菜や加工品の販売を進めるとともに、自ら出荷できない高齢者等のための集荷システムを整えることにより、中山間地域の女性や高齢者が元気に働くことができる社会を目指す ・植物工場の採用による食糧自給率の向上 ・農業・林業を魅力ある職場にし、若者たちが自分の力を信じて頑張ることができる環境を整えることが、徳島さらには日本の10年後を支える ・農業・企業に新しいブランドを立ち上げるなどにより、高齢者の就労の場を形成する ・農業を一つの職業として確立させ、農業だけで生活を可能にする(補助金制度の充実) 	<p>吉野川市60代男性 藍住町80代男性 徳島市80代男性 徳島市80代男性</p> <p>松茂町60代男性 板野町60代女性</p> <p>徳島市70代男性</p> <p>徳島市70代男性 徳島市40代男性</p> <p>北島町40代男性</p> <p>徳島市30代男性</p> <p>徳島市40代男性</p> <p>上板町20代女性 板野町40代男性</p> <p>徳島市70代男性</p> <p>鳴門市60代男性</p> <p>円卓・東部</p> <p>円卓・西部</p> <p>円卓・西部</p> <p>円卓・南部 円卓・南部</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・農業体験や林業体験、水産業体験など、専門化した体験ツアーの造成、当初は簡易ですぐに結果を体感できるシステムとし、徐々にレベルアップさせて、将来的な担い手育成を図る ・小売り側の価格競争で、生産者が犠牲になっている現状を打破するためには、「マーケットイン」（消費者が求めているものを提供していく）の考え方が有効であり、施策化が必要 ・耕作放棄地にごまを栽培し、食用油を生産すれば、地域活性化に繋がる ・地域資源の循環サイクルによる一次産業の活性化により、地域に収入のある仕事を確立（阿波尾鶏の鶏糞により栽培した飼料米による鶏肉の生産など） ・「通い農家」を振興するための施策が必要（中山間地域の道路整備など） ・農産物の販売を多チャンネル化するため、寂れつつあるJR無人駅のスペースを活用して、産直市を展開。また、植物工場に加工施設・販売施設を併設し、農業の6次産業化（生産・加工・販売）を推進 ・徳島県は農林水産業の強みを活かし、関西圏の食糧供給基地として生きていくべきであり、本四高速の無料化と県内大学における農学部を設置（研究成果）が本県の強みを増加させる <p>(林業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外材の輸入規制と国産材の使用推奨施策の実施 ・山林従事者の労働条件向上 ・公費の支出により若者が山林の手入れに従事できる体制を構築 ・木材自給率100%を掲げ県産木材の利用促進を図るとともに、林業の活性により山村でも安心して生活できる「ゆとりある生活モデル県」を構築する ・県産木材を100%使って、家を建てた場合は、固定資産税を5年間免除、旧耐震基準の木造住宅の耐震改修をした場合は、補助を増額、大手ハウスメーカーに県産木材の使用を要請することなどにより、県産木材の使用量（木材自給率）を増加させる ・中国等の海外の需要増にしっかりと対応して、産業としての成長力・競争力が回復 ・作業道などの基盤整備や高性能林業機械の導入が進むとともに、年配者の林業に関する知識・技術が若者に受け継がれた生き生きとした山村社会の実現 ・土地（木）との里親制度を設け、枝打ち等の管理を当該里親に実施（里親からの資金によって実施）してもらうとともに、伐採した木材は里親の家等の建築に利用いただくなど、多様な手法によって森林整備の促進を図る。また、一定規模の森林と住環境（空き家等）をパッケージし、無償（格安）で提供する代わりに、林業への従事を条件として都市部からのIターンを促進し、森林整備の促進を図る <p>(水産業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・獲る漁業から育てる漁業に転換を図り、近海に漁場を設置して、水産業の発展と雇用の場を創出 ・徳島県内のキャンプ場に、徳島ならではの魚（鱧など）や肉をレシピや調味料とセットで配送するサービスを確立する（県内外に、もっと徳島のおいしい農畜水産物を知ってもらい、消費拡大に繋げる） ・養殖漁業の推進・効率化を図るとともに、ブランド商品を育成 ・青すじのりのような地域の魅力ある食材をさらにPR ・とくしまブランドの水産物を増やす 	<p>徳島市30代男性</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>徳島市80代男性 徳島市80代男性 徳島市70代男性 美馬市40代男性</p> <p>徳島市30代男性</p> <p>徳島市40代男性</p> <p>円卓・南部</p> <p>徳島市30代男性</p> <p>徳島市80代男性</p> <p>鳴門市30代女性</p> <p>徳島市70代男性 美波町60代男性 円卓・南部</p>
商工業	<p>(新産業創出)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産学連携して、糖尿病に有効な漢方薬の開発を推進 	<p>美馬市60代女性</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・松茂の未利用県有地に、リチウムイオン電池やLEDを活用した「植物工場」団地を誘致し、季節の裏作物を生産し、路地栽培と併せて国内最大の農作物供給拠点とする ・産・官・学の連携により、本県に集積しているLED関連の研究を大学等で行うことにより、人材の育成を図るとともに技術のレベルアップを図る ・家庭向けあるいはコンビニ向けの小型植物栽培装置（ミニ植物工場）に種苗・肥料等を付けたセットの製造・販売を推進 <p>(地場産業育成)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県産木材の消費拡大に向けて住宅メーカーの工場誘致促進 ・強みのある成長産業の拡大を図り、若者が働く場所を創出 ・他県に真似できない様な新たな特産品の開発に取り組み、雇用の場を創出 ・情報関連等の特色ある産業を築き、若年層の県外流出を抑制する ・地場産品情報を「コンビニ」に集約し、そこで売っていなくても、情報が手に入るようにし、地域の人が地場産品を購入したい時のワンストップ機能をもたせる ・県南の豊富な竹林を有効利用（建築用ボード、肥料、抗菌剤など）することにより、雇用の場を創出するとともに、竹林の適正管理に繋げる ・本県の高い個人金融資産を活用するため、投資型の金融商品を開発（県内事業者の海外への販路開拓や事業拡大に対し、県民の個人金融資産の投資を誘引する） ・津田木材団地等の機能を活かし、木造住宅プレカット工場やマンションの作り付け家具工場等の誘致により、雇用の拡大と県産木材の需要増を図り、林業の活性化に繋げる <p>(商工業一般)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致を促進し、高齢者が働ける場を設ける ・企業誘致を促進し、若者の雇用確保を実現する ・県南への企業誘致を促進 ・徳島空港用地を利用し、総合特区を設け、海外企業10社を誘致する（法人事業税、法人住民税、固定資産税等の諸税を免除、ただし、売上げの1%をインフラ使用税として徴収） ・経済活力の源泉は中小企業であり、少数の大企業のみによるのではなく、中小でも創業が活発で裾野が広いことが重要。経済規模は決して大きくなくても、創業が廃業を上回るような創業スピリットにあふれた地域を目指す ・空店舗や土地を若者に安価に賃貸する制度や出店した店舗を無償でPRすることで、中心市街地の活性化を図る ・若者に対する起業ノウハウの講習など、起業支援の実施 ・特区制度を活用し、法人税を大幅に減額して企業誘致を促進 ・海外企業向けの大胆な優遇制度と規制緩和により、海外企業の進出を図り雇用を増やす ・建築業は様々な産業と繋がりががあるため建築業を発展させる方策により徳島の活性化を図る ・徳島市中心市街地に出店したい若年層の支援を行う ・テナント料を下げることなどにより、若者が出店しやすい環境を整え、徳島市中心部の活性化を図る ・海外への情報発信を行い、徳島県全域の発展を目指す ・東新町に全国的に人気のある店舗を誘致したり、週末に様々な人が集まるイベントを開催することで、東新町の活性化を図る <ul style="list-style-type: none"> ・「外貨獲得」を重視し、海外企業の進出できる環境をつくり、徳島県へアジアの投資を呼び込む ・若い後継者を探したり、商品の値下げを行うことなどにより、東新町の活性化につなげる ・農村地域では、農産物に付加価値をつけて販売するなど、女性が元気であるため、女性の経営や創業を支援する制度を構築 	<p>美馬市40代男性</p> <p>北島町40代男性</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>吉野川市60代男性 徳島市70代男性 大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>徳島市40代男性</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>石井町60代女性 石井町20代男性 美波町60代男性 徳島市30代男性</p> <p>徳島市40代男性</p> <p>円卓・東部</p> <p>円卓・東部 大学・青年団体等 大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等 大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等 大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p>
--	--

	<ul style="list-style-type: none"> ・県庁舎の空きスペースをベンチャー企業やNPO法人等に貸し出す制度をつくり、ベンチャー企業等の支援とスペースの有効活用を図る ・徳島県のLEDやバイオマスなど環境分野の素地を活かし、環境関連産業特区として企業誘致を図る（タックスヘブン化、土地賃料の5年間無料化など） ・日本に来た外国人（中国人等）用のコールセンターを徳島に置けば、雇用に繋がる ・徳島県の豊富な薬草と県内の2大学に薬学部のある強みを活かし、大手漢方薬メーカーから薬草の栽培、採取、加工等を受託する法人の設立や漢方薬製造工場の誘致 	<p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p>
働き方	<ul style="list-style-type: none"> ・県が産・学の連携を促進することにより（産・学・官の連携を図り）、高校・大学等で地元企業が求める人材が育成できるようにし、本県の学生が本県で就職できるように努める ・ダブルワークの推奨やワークシェアリングを取り入れることにより、雇用を増やすとともに、所得を倍増させる ・1・2次産業の後継者育成に全力を傾注 	<p>北島町40代男性</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>徳島市40代男性</p>
安全・安心	<p>(防災)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来の徳島県を担う人材である子どもの学舎であるとともに、地域の方の避難場所ともなる小・中・高校の耐震工事を早急に行い、学校の耐震化率アップを図る。これにより、災害時の地域の防災力の向上も図ることができる ・県民に防災センターに一度は訪れてもらう、高齢者が地震の際の避難経路を確認しておくなど、日頃からの防災意識を高める地震対策が必要 ・大地震などの災害に対応すると同時に、近隣に生活する人々の助け合いを可能とするためコミュニティの結びつきを強くする ・地域の子ども会などを通じ、親子で避難訓練や防災訓練を行うことにより、防災力を高め、地域防災組織の増強に繋げる ・耐震化についての意識の変化（明るいイメージへの転換）を促し、経済的支援を拡充することにより、倒壊の危険性のある木造住宅の耐震診断受診率を100%にするとともに、耐震工事件数を向上させる <p>(交通安全)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや高齢者にやさしい歩道の整備 ・譲り合いの精神で、交通マナーを尊重する社会の実現 ・交通事故から人の命を守る、死亡事故を無くすことに総力を挙げて取り組む ・人口10万人当たりの交通事故死亡者数が全国平均を下回ることを目指す ・交通違反の罰金を高くするなどして交通事故の抑制を図る ・県内におけるLED式信号機の割合を100%にし、視認性の向上により交通事故の減少を目指す ・他県出身者にカルチャーショックを与えるような交通マナーの改善を図る ・早めの方向指示など交通ルールを徹底し、他県からの旅行者、移住者が安心して車の運転ができる街にする <p>(防犯)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・街をきれいにすると、犯罪が減ると言われていることから、街のクリーンアップ作戦を進める 	<p>北島町40代男性</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>徳島市30代女性 徳島市20代男性 阿南市70代男性</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等 大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p>

	<p>(食の安全)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食の安全を確保するため、食品加工業者における輸入や加工の過程を、さらに透明化させる取組が必要 <p>(消費者)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リフォーム業者は業者間のレベル差が生じやすいため、表彰制度を設け、業界の活性化と信頼性向上に繋げる <p>(医療)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの調子が悪くなった時の近隣病院での受け入れ促進 ・ドクターヘリによる広域的な取り組みにより県民の生命を守る ・県内どこの地域でも必要最低限の医療サービスを受賞できる「とくしま医療ミニマム」の実現 ・県南部や西部においても、救急医療の充実を図り、県内どこでも安心して暮らせる社会をつくる ・病院など医療機関の偏在を解消し、住みやすい環境が整った地域を実現 ・本県出身の医師が、本県へ戻ってくるシステムの構築を行い、医師不足の解消を図っていく必要がある ・四国遍路が培った「お接待の心」を持つ「緩和ケア病院」を奨励 <p>(健康)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病や肥満対策として、濃い味付けから薄い味付けへの転換を促進 ・県がホームページ上に開設した「バーチャル・アリーナ」に、「万歩計の歩数」や「プールで泳いだ距離」など、身近な健康づくりの数値等を報告してもらい、県民同士で楽しく競い合う「バーチャル・県民オリンピック」を開催する ・健康づくり先進県を目指して、県立総合大学の主催講座として、民間指導者が事業所などに出向いて「山登り教室」「マラソン教室」などを行うとともに、休日には「山登りイベント」などを開催し、県民の活動の拡大を図る ・屋外においても公共の場での喫煙を禁止し、「クリーンエアード島」を実現 ・子どもから大人まで参加できる運動を目的とした様々なイベントを開催、プールなどの運動施設、ウォーキングロードの設置等により、糖尿病患者の減少を目指す ・公園施設の充実、野球・サッカー選手との交流イベントの開催などにより、運動不足の子どもたちの体力や運動能力の向上を図り、糖尿病予備軍を減少させる ・健康管理ソフトや簡易診断キットの配布、飲食店のカロリー表示の義務化、各種シニアスポーツ大会の開催、ラジオ体操の通年化などにより、医療費負担を半減 ・年一回の人間ドックの受診、家庭での食生活見直し、運動等により、糖尿病患者の減少を目指す ・自動車通勤を禁止する、あるいは、車以外での通勤方法に変更した人には手当を支給するなどして、自転車等での通勤を推進することにより、運動不足を解消し、糖尿病患者を減少させる ・食育を進め、県民の健康増進を目指す 	<p>板野町40代男性</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>徳島市40代女性 徳島市30代男性</p> <p>徳島市40代男性</p> <p>北島町40代男性</p> <p>円卓・西部</p> <p>徳島市50代男性</p> <p>徳島市40代男性</p> <p>徳島市20代男性</p> <p>徳島市40代男性</p> <p>徳島市40代男性</p> <p>円卓・南部</p> <p>円卓・東部</p> <p>円卓・東部</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p>
教育	<p>(人づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若い人が社会奉仕活動に自主的に参加するような、公德心を育てる指導者の育成 ・グローバル社会で必要となる自国の文化や伝統を説明できる能力など特色のある教育システムを構築 <p>(学校教育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思いやりや助け合いの精神を育むため、学校・家庭・地域が連携し、道徳教育を充実する 	<p>板野町80代男性</p> <p>徳島市20代男性</p> <p>徳島市50代男性</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級や複数の指導者による授業を行うことにより、多様な子どもたちの個性に対応できる学校教育を進める。 ・習熟度別授業を実施し、個々のレベルに対応した授業により効率的に学力の向上を図る ・小中高校で英語以外の第二外国語（中国語など）を学べるようにし、国際人として活躍できる人材を育成 ・「自然」から学び探求心を持つ子どもを育てる ・「進学クラスの創設」等により、学力面で伸びる人を伸ばしていく教育が必要 ・特別な支援を必要とするこどもに対し、自立を支援する教育を充実させることが必要 ・「ドイツ俘虜」の話や「右衛門三郎(遍路の先駆者)」の話を小学生のうちから学ばせるとともに、「阿波おどり体験」と「歩き遍路体験」は小中学校の必須とする ・学区制を見直し、自分の希望する学校を選択することができる入試制度とする必要がある <ul style="list-style-type: none"> ・徳島に優秀な研究者を集め、「頭脳立県とくしま」を目指すためには、研究者が自分の子どもの教育に対して望んでいる環境が十分整備されているかが重要であり、県内教育水準の向上が必要 ・町歩きや町並みのスケッチなど、参加・体験型の景観教育が重要であり、その結果、子どもたちに自然や建物、町並みを評価する目が培われ、地元への愛着へと繋がる ・子どもの心の問題が大きくなっており、多様な価値観、将来展望など、推薦映画や推薦図書で啓発していく必要があり、日本のマンガ・アニメを教育現場で使用することで、分かりやすく心に訴えかけることができる。また、徳島発の心のケアを目的としたアニメをつくり、観光資源として活用 ・子どもたちの感受性・協調性・体力を養うとともに、自然に対する知識、地域への愛着を深めるため、自然体験施設と学校等が連携し、自然環境教育（自然体験プログラムなど）を充実 ・若年層の県外流出人口削減なくして、10年後の徳島はない。県内で多様な高等教育を受けることができるよう、学部、学科を新設する (生涯学習) ・今後一層の高齢化を見据え、コストをかけずに全県的に生涯学習を推進（無料で講師を務めてくれる人のネットワーク化や廃校となった学校や合併で空いている公共施設の利用など）する必要があり、誰もが気安く学べる場が、身近にできることにより、結果として高齢者の引きこもりを防ぎ、医療費の削減にも繋がる (食育) ・食育の認知度を上げるため、小学生による料理コンテストや小学生と生産者の交流促進、給食センターの見学や「あすたむらんど」での地産地消メニューの販売などに取り組む 	<p>北島町40代男性</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>徳島市50代男性</p> <p>徳島市30代女性</p> <p>徳島市40代男性</p> <p>鳴門市50代男性</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p>
福祉	<p>(高齢者福祉)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が若い人達を支えるような、高齢者が住みやすい社会を実現 ・高齢者の健康保持のため意識改革を推進 ・高齢者介護のために外国人の受け入れを促進 ・介護のボランティアの充実・組織化を図るなど、地域の高齢者は地域で面倒をみることができる仕組みづくりが必要 ・介護人材を確保するために、待遇等の改善に取り組むとともに、中高生を対象とした介護施設での職場体験などにより、介護分野への就職を支援する 	<p>鳴門市70代女性</p> <p>石井町60代男性</p> <p>阿南市20代男性</p> <p>北島町40代男性</p> <p>板野町40代男性</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に焦点を絞ったイベントの開催など高齢者にやさしい社会の実現 ・様々な施設のバリアフリーを進めることによって高齢化社会に対応 ・ユニバーサルデザインに関する取り組みを一層推進し少子高齢化社会に対応 ・小中学校で介護体験の授業を取り入れる等、高齢者の住みやすい社会を目指す ・世代間の交流を活発にし、高齢者との関わりを増やすことにより高齢者に生き甲斐を持ってもらう ・高齢者福祉施設に親族用リゾート風宿泊施設併設など、遠隔地の親族が喜んで徳島に帰省したくなるようなハード整備もしくは既存施設との連携をセットにするよう督促し、帰省者の長期滞在を交流人口増に結びつける ・高齢者の知識や経験を活かし、指導者を指導する立場として、社会貢献することにより、高齢者が生きがいを持ち、生涯現役で過ごせる社会を実現 (障害者福祉) ・障害のある方の雇用の場を確保することなどにより、障害の程度に応じた自立を支援し、障害のある方が地域や社会との関わりをもつことができる体制をつくる ・徳島県独自の障害者雇用目標を立て、企業グループが連携して障害者を雇用し（実際に障害者を雇用する企業、金銭面を支援する企業などの役割分担を行う）、障害者の労働の内容に応じて報酬を支払うシステムを構築する ・本人の自立をサポートする支援センターの設立を促し、障害者が元気で暮らすことの出来る社会を実現する ・身体障害者や高齢者が安心・安全に暮らせる地域づくり ・地域の欠かせない人材として、高齢者が介護・福祉・教育・町おこしなどに参加できるメニューを考えていく必要がある 	<p>徳島市20代男性</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>徳島市40代男性</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>北島町40代男性</p> <p>徳島市40代男性</p> <p>徳島市30代男性</p> <p>徳島市20代男性</p> <p>とくしま学博士・職員等</p>
<p>子育て・少子化対策</p>	<p>(子育て・少子化対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の定員増による待機児童解消 ・スーパーマーケットなどに子どもの遊び場スペースを設置 ・身近な場所に駐車場の安全な子どもの遊び場が必要 ・公民館・児童館単位の乳幼児学級など母親が地域に入りやすい仕組みづくりが必要 ・共働き世帯にとっては、病気の子どもを預かってくれる病院等の施設が必要 ・地域ごとに小さな子ども連れの親子が時間を過ごせるような施設が必要 ・シルバーパワーを活用した新たなお見合い制度の構築 ・結婚を考える人たちにきっかけを与える環境づくり ・子ども的人数に応じた手当等の拡充 ・小学校低学年の児童を対象に、各地域に放課後教室等の充実を図り、とも働きなどで昼間に保護者がいない家庭も安心して、子どもを生き育てることができる社会をつくる ・家庭教育の充実により「結婚して子どもを育てるのは楽しいことだ」と理解させることが必要 ・義務教育期間中の子どもの医療費無料化 ・子どもをつくりたいと望む人たちが安心してできるような安定した雇用の実現 ・既婚者が安心して子育てすることができる環境をつくるのが大切 ・保育園等を増やすとともに「子ども手当」等の拡充により少子化社会からの脱出を目指す ・子育て支援センターの設置等により、子どもを育てやすい社会を目指す ・育児のしやすい環境を整え、出生率の増加を目指す 	<p>徳島市40代女性</p> <p>徳島市30代女性</p> <p>徳島市30代女性</p> <p>徳島市30代女性</p> <p>徳島市40代女性</p> <p>徳島市40代女性</p> <p>美馬市60代女性</p> <p>徳島市20代男性</p> <p>徳島市20代男性</p> <p>北島町40代男性</p> <p>徳島市70代女性</p> <p>石井町20代男性</p> <p>吉野川市20代女性</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致や病院誘致により出産に対する安心感を作り、人口増（10%程度）を目指す ・子どものいる世帯への手当等を充実させるとともに、公園など、子どもが安全に遊べる場所を設置 ・妊婦が生活しやすい環境づくりを目指す ・徳島県独自の「補助制度」や「就労の場」を確保することにより少子高齢化を防ぐ ・家庭に子どもが2～3人いるような徳島県を目指し、人口増へつなげる ・親による子どもの虐待を防止するため、母親を支える支援団体の設置など、子育て支援を一層強化する ・幼稚園・保育所と老人福祉施設の機能を併せた総合的な施設を設置し、子どもから高齢者まですべての人の心がふれあう、住みやすい社会を目指す ・非正規社員を少なくし、正社員を増やすことにより、毎日、安心して過ごせる子どもを育てやすいまちづくりを進める ・子ども手当の支給や子どもを健康に育てられる環境を整えることで、人口減少を抑える ・子どもや高齢者に対する虐待（ネグレクト含む）のない社会の実現 ・小学校の空き教室などを利用し、統合ケア施設（児童館とデイサービス施設の併設など）を設置し、地域及び世代間の交流を図る ・子どもが病気の際も、普段と同じ保育所で預かってもらえる仕組みを整えることで、安心して子育てできる環境を実現 ・トモニプラザのキッチンスタジオを利用した料理教室のほか、とくしまマラソンへの参加やヴォルティスの応援を活用し、自然な形で男女の出会い場を創出することにより、結婚へと繋げる ・かずら橋やラフティングなど、地域資源を活かした婚活を進める 	<p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等 大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>徳島市30代女性</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p>
環境	<p>(環境問題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二酸化炭素削減に向けて、人間・畜産物など生物に税金をかけて環境対策を推進 ・日本一環境にやさしいまちを目指して、LED電球の普及促進、建物の屋上緑化の推進、風力発電や太陽光発電など自然エネルギーへの切り替え推進 ・自家用車から公共交通機関や自転車に切り替えた人など、環境に良い取り組みをした人には環境手当を支給 ・低炭素社会の実現に向けてベロシティ（都市自転車高速網）の整備を促進 ・風力発電や太陽光発電の強化・拡大、化石燃料車から電気自動車への移行を促進 ・低炭素社会の実現に向けて、サイクリングロードの整備、駐輪場の整備など自転車の利用を促進 ・人・自転車・電動車いす等のための道を整備して、自動車中心の街から人中心の街に転換 ・ゴミの不法投棄の罰則強化・監視強化と、既存のゴミを住民ボランティアで掃除 ・徳島市内へ流入する自動車交通を削減し、公共交通機関の利用を促進するため、吉野川、勝浦川の橋梁上で課金し、その収益を、公共交通機関の維持費用、橋梁の維持費用、高齢者・子ども向け公共交通機関利用バウチャーの発行費用などに充当する ・太陽光などの自然エネルギーやバイオマスエネルギーなど、新エネルギー導入を促進し、環境首都とくしまを実現 ・ソーラー発電を利用した電動自転車をJRの駅や主な観光地に設置し、レンタル自転車として活用し、環境意識の啓発と健康の増進を図る 	<p>石井町20代女性</p> <p>鳴門市10代女性</p> <p>上板町20代男性</p> <p>美馬市50代男性</p> <p>徳島市80代男性</p> <p>徳島市10代男性</p> <p>小松島市50代男性</p> <p>板野町20代男性</p> <p>徳島市30代男性</p> <p>板野町40代男性</p> <p>美馬市40代男性</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・リチウム電池を使った電気船を開発し、新町川から撫養航路の川辺の観光地を結ぶ観光船として就航させ、水の都と環境立県をPRするとともに、通勤手段としても利用し温室効果ガスの抑制を図る ・公共交通機関の充実や、バイオガソリンへの転換を通じて、低炭素社会を目指した取組を進める ・公共交通機関等の充実やゴミの分別によって温室効果ガスの排出量を抑制 ・文化の森など、県の施設の駐車場はすべて駐車料金を徴収することにより、利用者に公共交通機関での来場を促すととも、駐車場収入は、歩道や自転車道の整備に充当 ・河川堤防の法面を利用した太陽光発電や堤防の除草で出た廃棄物のバイオマス利用など、新エネルギーの開発 ・ヒートポンプの導入、LED導入体制のさらなる強化、新エネルギー（太陽光発電など）の活用により、CO2削減を図る <p>(循環型社会・リサイクル)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上勝町のゴミ34分別のように、徳島のゴミを減らす運動を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・レジ袋有料化の取り組みを県下一円に広げることで、環境首都とくしまを全国にPRするとともに、家庭からのエコ活動を考えるきっかけとしてもらうことにより、より一層の循環型社会推進を図る ・家電製品やパソコンだけではなく、ペットボトルをはじめ幅広い製品でデポジット制度が導入され、リサイクルの仕組みがしっかりと確立された社会の実現 ・ゴミ分別の徹底などによりエコタウンクシマを実現 <p>(自然環境・景観)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木々をたくさん植えた公園の整備 ・下水道の整備や、街の緑や花を増やすなど四季を身近に感じられる街づくり ・四国八十八カ所の世界遺産登録に向けて環境美化運動を推進 ・よい環境を作るには、まずよい山をつくるべき、健康な森林づくりこそが愛される徳島のものである ・ニューヨークのセントラルパークのように、100年後を見据えた自然環境の保全・創造、街・景観づくりを進める思想と取組が根付いた徳島の実現 ・町の歩道に木を植えたり、ボランティアによる自然保護を呼びかけることなどにより自然が残るエコな町をつくる ・温暖化を防ぐために植物を植え、緑を増やす ・森・川などの自然環境を出来るだけ残し、「自然」というコンセプトをもとに、徳島でしか出来ない街づくりを目指す ・「次世代に残したい自然」をテーマに広く募集を実施し、上位は開発等に一定の制限を加えた保護措置を行うことで、誇れる自然環境・景観の保存を促進する 	<p>美馬市40代男性</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>吉野川市20代男性</p> <p>北島町40代男性</p> <p>徳島市40代男性</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>徳島市10代男性 徳島市10代女性</p> <p>徳島市70代男性 つるぎ町50代女性</p> <p>徳島市40代男性</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等 大学・青年団体等</p> <p>徳島市30代男性</p>
<p>観光</p>	<p>(観光一般)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊施設を整備して、通過点とならない観光地を目指す ・お接待の心、おもてなしを活かした観光の開発 ・全国の人に徳島を知ってもらえるように、四国一周バックツアーを企画 ・交通網の整備を促進するとともに、案内板や休憩所、観光ガイドの設置により観光客の増加を目指す ・四国遍路の方々をもっと増やす工夫が必要 ・阿波おどり、人形浄瑠璃、郷土料理などを常時楽しめる宿泊施設の整備 ・水の都をPRするLEDを使った光の祭典を冬に実施して、阿波踊りの閑散期をカバー ・四国と近畿圏を繋ぐ玄関口として、多くの人たちを迎えるためのイベントの企画や環境整備が必要 	<p>板野町60代女性 北島町60代男性 板野町60代女性</p> <p>板野町60代女性</p> <p>石井町60代女性 徳島市20代女性</p> <p>徳島市20代男性</p> <p>徳島市20代女性</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客を呼び込むため、デザイン性のある統一した案内表示が必要である。また、旅行者に魅力的な写真が撮れるスポットを案内することも重要 ・LEDを埋め込んだ光の列車（銀河鉄道999のイメージ）を走らせ、観光資源とする（財源は、ふるさと納税を活用し、全国の鉄道マニアに呼びかける） ・県内のB級グルメを増やすため、県内でコンテストを開催するとともに、徳島の新しいB級グルメをB-1グランプリに出品し、出品料理を多くの店でメニュー化することにより、観光客の倍増を目指す ・宿泊、滞留型の観光地として進展を図るため、県内有力企業の協力や県外資本の導入により、「御花島庭園」の再建や遊戯施設（遊園地、プール、スケート場等）の建設を実施 ・安心・快適・経済的・エコロジーな町である電化村（オール電化の町）を設立し、電気自動車を普及、クリーンな町を観光PRする (体験型観光) ・徳島の美しい海辺を活かした釣りや料理を楽しむフィッシングセンターを設置 ・体験型ツアーを充実するとともに、そのボランティアを養成 ・県南部や西部の自然を活かした観光資源を活用し、これまで以上に体験型観光の振興を図り、多くの県外客の受入を目指す。特に、修学旅行生などを受け入れる環境を整えることにより、修学旅行生に、もう一度徳島に行ってみたくていただけるようにすることで、将来の観光客増に繋げる ・都市住民が観光を兼ねて農山村を訪問して都市部では経験できないような農山村の自然・生活文化を体験し、リピーターが恒常的に生まれるようなエコツーリズムを実施 ・「木頭ゆず」や「木頭杉一本のり」を活用し、これをもとにリピーターを育て人的交流と教育体験型のエコツアーを育てる ・体験する項目によりレベル（級）を設定し、リピーターとして再来するきっかけ作りをするとともに、一定レベル以上をマスターした者が地元で誘客する立場（後継者）になれる環境づくりを行うことで、体験型観光自体のブラッシュアップも図る ・企業見学、農業体験と観光名所を組み合わせたコースを設定し、県外観光客を増やすとともに、県民にも改めて地元企業や農業を見直してもらう機会とする 	<p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>鳴門市70代男性</p> <p>徳島市70代男性</p> <p>北島町40代男性</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>徳島市30代男性</p> <p>大学・青年団体等</p>
文化・芸術・スポーツ	<p>(文化・芸術)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼い頃から、地元の文化や伝承に触れることが重要であるため、地元の伝統行事を支援することはもとより、伝統行事等を学校教育に取り入れることなどにより、早くから伝統文化に親しんだ子どもたちの人数を多くすることで、地元の伝統・文化を将来に残していく人材の育成を図る ・街と自然と芸術が共存した地域づくりを促進し、あらゆる建造物や自然環境をキャンパスとした芸術作品の制作を推奨する ・正月行事や伝統芸能を準備段階から長期的に体験させるツアーを組んで、伝承のレベルごとに認定証を出すことで、芸能の伝承と話題性の喚起を行う ・若い頃から言葉を磨く機会を増やすことにより、「俳句の愛媛、短歌の徳島」と称されることを目指す 	<p>北島町40代男性</p> <p>徳島市30代男性</p> <p>徳島市40代男性</p> <p>徳島市40代男性</p>

	<p>(スポーツ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「サッカーワールドカップ2022 (or2018) 日本大会」の会場誘致を目指す(開催可能なサッカースタジアムを徳島駅北側に建設し、大規模災害被災時に避難者の一時的収容施設として使用) ・経済的な理由(道具が高い)や練習環境(ジュニアの練習場がない)などの面から参入障壁が高く、競技人口の裾野が狭いものの、成功すればワールドワイドな活躍が期待できるスポーツ競技(ゴルフなど)、文化、芸術の分野を選択し、集中的にジュニア育成を図る ・スポーツ少年団の指導者に対する研修や指導、また、総合型地域スポーツクラブとの連携により、子ども達に多くのスポーツに触れさせ、能力に合った競技を選択できる環境づくりを行い、国際舞台で活躍できる選手を育成 ・県が補強費等を援助し、「徳島ヴォルティス」をJ1で優勝争いのできるチームにすることにより、J1の人気クラブの試合が徳島で行われることになり、経済波及効果が期待できるとともに、県民にも元気を与える ・競技人口の増加を図り、プレイヤー・指導者の一貫指導システムの徹底と、学校における運動部活動の充実と文武両道の学校指導の徹底を行い、全国大会・国体での上位入賞を目指す <p>・高齢者の医療費の抑制や糖尿病死亡率の改善には、10年プランでの取り組みが必要であり、現在40~50代の県民が公共交通機関利用促進により、歩く時間を増やすなど、より積極的に運動を行う「県民運動」のような機運の醸成が重要</p> <p>・自然環境を活用したトレイルランなどのスポーツ誘致・環境整備を図り、自然スポーツのメッカとしてのブランド化を図る</p> <p>・狭いスペースで少人数で行うことができ、危険も少ないため、男女混合で実施できる「フットサル」を小学生に推奨し、運動能力の向上、サッカーのスキルアップに繋げる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10年後にはサッカー専用スタジアムが建設され、ヴォルティスはJ1に昇格 ・県民スポーツデー(水曜日)を設定し、小学校区単位で体育館・グラウンド等に集まり、運動することで、スポーツ振興に繋げる(携帯のグループウェアで参加者を登録・管理) ・自転車イベントを増加させることにより、CO2削減と健康増進に繋げる ・鳴門~阿南~県西部を1つの自転車道として整備することにより、距離が日本一、形が「T」の字になる徳島の「Tーライン」として売り出し、「ツールド徳島」の開催に繋げる 	<p>徳島市30代男性</p> <p>徳島市40代男性</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等</p> <p>徳島市50代男性</p> <p>徳島市30代男性</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p>
国際交流	<p>(国際交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な国の外国人が多く住む、世界の国々と交流の深い県 	<p>大学・青年団体等</p>
地域づくり・基盤整備	<p>(地域づくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政をスリム化するため、防災、福祉、子育て、環境など住民に出来ることは住民ボランティアに任せる体制を整備 ・地域コミュニティの機能強化 ・生涯学習の各種講習等の修了者が、グループで討議したり、見学会に参加したりできるネットワークをつくる ・少子高齢化、過疎化が進む中で、地域のふれあいの場づくりを推進する ・隣近所で助け合い、楽しく暮らせる社会を取り戻す 	<p>上板町50代女性</p> <p>石井町60代男性</p> <p>板野町70代女性</p> <p>徳島市60代女性</p> <p>美波町70代女性</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・「とくしまマラソン」より手軽に参加できる「とくしまウォーク&ライド」を開催（徒歩と公共交通機関を活用して指定された場所をまわり制限時間内のゴールを目指すことにより、健康づくりと公共交通機関の利用促進、さらには地域の隠れた名所を再認識してもらうことにより、地域興しに繋げる） 	鳴門市30代女性
<ul style="list-style-type: none"> ・田舎でも昔のような隣近所の助け合いは少なくなってきたおり、地域での新たな支え合いを構築する必要がある 	円卓・西部
<ul style="list-style-type: none"> ・県西部は四国の中心地にあるため、その地域特性を活かして四国のミーティングエリアとして売り出す 	円卓・西部
<ul style="list-style-type: none"> ・県西部の恵まれた自然環境等に磨きをかけるとともに、子育てしやすい環境を整え、勤務先は他県（香川、愛媛、高知に1時間程度で通勤可能）でも、住むのは徳島県西部といった人を増やす 	円卓・西部
<ul style="list-style-type: none"> ・田舎は大きな市や町に比べケーブルテレビなどのネットワーク整備が比較的整っていることから、これを活用（インターネットを利用した在宅健康診断など）し、地域を安全安心に暮らせる場所にする 	大学・青年団体等
<ul style="list-style-type: none"> ・徳島の環境を見直し、住みやすい街であることを他県の人にもPRし、高齢化・過疎化しつつある町村を活性化させる 	大学・青年団体等
<ul style="list-style-type: none"> ・県外から徳島に進学（大学・専門学校）した学生を優先的に県内に雇用し、人口増加を目指す 	大学・青年団体等
<ul style="list-style-type: none"> ・県全体をリゾート化するとともに老人ホームを充実することにより全国から高齢者を呼び込む 	大学・青年団体等
<ul style="list-style-type: none"> ・徳島駅前に公共施設を集約 	大学・青年団体等
<ul style="list-style-type: none"> ・徳島を「第2のふるさと」に登録してもらった方に、ICTを利用した情報発信や特典を付加する「セカンド県民制度」を実施し、交流人口を増加させ、活性化に繋げる 	とくしま学博士・職員等
<ul style="list-style-type: none"> ・これまで、アドプト団体は除草等のみを行ってきたが、意欲のある団体には、にぎわいや憩いのための簡単な施設（スロープ、花壇、ベンチなど）を整備できるようにし、民間活力によりにぎわい（憩い）スペースの整備を推進する 	とくしま学博士・職員等
<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少社会でも運営可能で、住民にも環境にも適したスマートシティを実現し、モデル都市となる 	とくしま学博士・職員等
<p>（農山漁村地域）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山村地域に「英語特区」など英語学習に特化した仕組みをつくり、「山村留学」と併せて行うことにより、子どもを呼び込む 	徳島市30代女性
<ul style="list-style-type: none"> ・過疎地域等の既存小売店や地元病院に対する優遇措置の実施 	徳島市20代男性
<ul style="list-style-type: none"> ・空家を安全で安心して貸せるようにすることで、U・Iターンにより人口を増やし、町を活性化させる 	円卓・南部
<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー世代の移住による80万人口の復活と高齢者の旺盛な消費活動による内需拡大 	大学・青年団体等
<ul style="list-style-type: none"> ・過疎地域自立促進特別措置法に基づく地域の復興を目指し、若者がそこに集まり、家庭を築き人口を増やして、過疎を打破する 	大学・青年団体等
<p>（まちづくり）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大型商業施設に負けない利便性の高い地元商店街の再生 	吉野川市60代男性
<ul style="list-style-type: none"> ・遠隔地に行かなくてもいいように、地域の既存小売店や病院などに優遇政策を実施 	徳島市20代男性
<ul style="list-style-type: none"> ・西新町に若者の集まる巨大ショッピングモールを整備 	鳴門市60代女性
<ul style="list-style-type: none"> ・LEDを活用した明るい街づくりをさらに推進 	板野町70代女性

	<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリートブロック塀から垣根への転換を促すなど潤いのある街づくりを推進 ・大阪のユニバーサル・スタジオ・ジャパン、千葉の東京ディズニーランドのようなアミューズメントパークを徳島に誘致 ・徳島を魅力ある都市にするためには、芸術分野は重要かつ欠かせない要素 ・病院の近隣に生活必需品を購入できるスーパーマーケットを設置 ・徳島市中心部に大規模24時間無料駐車場を整備 ・徳島の自然を生かした街づくりを計画的に行い、街並み自体を観光資源とする ・若者の多い大学の近くに映画館を設置 ・公共交通機関の充実やバリアフリー化を図るとともに、四季を感じられる「歩きたくなる町づくり」を進め、CO2の削減と安全・安心な町づくりを実現 (基盤整備) ・高速道路8の字ネットワークの早期完成 ・高速道を早急に南進させて、高知南国道と接続 ・防災・救急医療対策や地域の活力を生み出す新たな産業振興、地域間の交流促進、また、観光誘客対策のため、四国8の字ネットワークの早期整備を目指す ・道路の多車線化により交通渋滞の解消を目指す ・高齢者向けのパソコン講習を充実し、インターネットの活用を普及させ利便性の向上を図る (公共交通機関) ・通勤・通学時間帯のJRの便数を増やす ・新幹線など高速交通機関の整備促進、特に近畿圏へのアクセスの改善 ・車以外の交通手段の整備を促進 ・交通事故防止、交通格差是正、低炭素社会実現を目的に、電子マネー機能付きICパス導入などJRやバスの利用を推進する施策を実施 ・路線バスの不採算路線をコミュニティバス化することなどにより、車(免許)を持たずとも、地域内の移動に不自由がない徳島を目指す ・JR通勤促進のための実証実験として、県からJRへ補助金を拠出し、特急列車の増便と特急料金の低価格化を実施(通勤者の利便性の向上を図り、JR通勤のメリットを体験してもらう) ・徳島阿波おどり空港と成田などの国際空港を定期便で結ぶことで、利便性を向上 ・バスの大きさを現在より小型のものにし、無駄を削減した上で、便数を増やすことにより利便性を向上させる ・公共交通機関の充実(河川を利用した水上バス含む)やレンタル自転車の設置(主要駅前)により、車に頼らない低炭素型社会を実現 ・沖縄や上海、ソウルへのチャーター便、定期便の就航により、地域の発展に繋げる 	<p>板野町70代女性</p> <p>小松島市20代女性</p> <p>石井町20代男性</p> <p>徳島市30代女性</p> <p>徳島市50代男性 円卓・東部</p> <p>円卓・東部 大学・青年団体等</p> <p>阿波市60代男性 鳴門市70代男性 大学・青年団体等</p> <p>大学・青年団体等 大学・青年団体等</p> <p>鳴門市10代男性 徳島市30代男性</p> <p>徳島市30代女性 徳島市40代男性</p> <p>鳴門市30代女性</p> <p>阿南市30代男性</p> <p>円卓・東部</p> <p>大学・青年団体等 大学・青年団体等</p> <p>とくしま学博士・職員等</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道州制で関西州に入り飛躍を目指す ・経済優先から心にゆとりのある社会への転換 ・県財政の充実、健全化を推進 ・県及び県内市町村へのふるさと納税を、10年後10倍にする(県と各市町村が一致団結して、PR活動を実施するとともに、「徳島県滞納整理機構」が「ふるさと納税・推進機能」を持つことにより実現) ・他県に先駆けて、日本人の就労機会を損なわずに人口を維持できるような体系的な移民の受け入れ体制を構築 <p>※重複あるいは類似している意見が複数ある場合は、その中の代表的な意見を記載している</p>	<p>徳島市20代男性 鳴門市60代男性 板野町20代男性 徳島市30代男性</p> <p>小松島市50代男性</p>